

# 桂中学校ブロックの小中一貫教育

## 小中一貫教育構想図

[目指す子ども像] 思いやりの心を持ち、人や自然を大切に出来る児童・生徒

将来の目標に向かって、自ら学び努力し続ける児童・生徒

どんなことにもくじけず、粘り強く挑戦する児童・生徒

大きな声で挨拶や返事が出来る児童・生徒

自分の思いや考えをしっかりと伝えることが出来る児童・生徒

周囲の人や自ら体験したことから、何かを学ぼうとする児童・生徒

3rd  
stage  
中3

### 自ら学ぶ力

- 高い言語能力を備えた生徒の育成
- 授業における「めあての提示」と「ふりかえりの時間確保」を確実に実践
- 授業でのコミュニケーション活動、プレゼンテーション活動の積極的な実施による学びの深化
- 少人数授業、TT授業、課外学習（長期休業期間）、放課後学習（未来スタディ）、土曜学習、テスト前学習会

2nd  
stage  
中1

基礎学力の定着  
・学習規律の確立

小6

- |                       |                          |                            |
|-----------------------|--------------------------|----------------------------|
| ・グループや少人数での話し合いを通じた学び | ・授業における学習の場としての図書館の活用と充実 | ・課題選択や個々を活かす学びの獲得を目指した自主学習 |
|-----------------------|--------------------------|----------------------------|

小5

1st  
stage  
小4

小3

小2

小1

### 思いやりの心・規範意識

- 生徒会活動を充実させ、生徒集団としての高まりを目指す。
- 道徳的判断力、道徳的実践力の習得に向けて、「考える道徳・話し合う道徳」を積極的に活用した道徳授業の実践
- 個々の社会性を高めていくためのキャリア教育活動の実践
- 児童会と生徒会の交流活動

道徳的実践力・判断力の定着

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| ・リーダーとしての自覚の獲得と望ましい人間関係の構築 | ・道徳授業を通して思いやりの心、自立心や責任感を育成 |
|----------------------------|----------------------------|

- |                                     |                 |
|-------------------------------------|-----------------|
| ・児童会活動や縦割り活動、部活動において高学年から学び、低学年に伝える | ・道徳授業を通して実践力を育成 |
|-------------------------------------|-----------------|

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| ・学習や遊びを通してルールやマナーを知る | ・道徳授業を通して判断力を育成 |
|----------------------|-----------------|

学校（中学校・小学校）

桂中：『言語能力の育成・言語活動の充実』

『「温かな心」「たくましさ」を兼ね備えた生徒の育成』

桂小：

心豊かに 楽しく 学び続ける桂の子

桂徳小：

心豊かに たくましく 自ら学ぶ 桂徳の子  
～子どものよさを伸ばす教育の推進～

桂川小：自ら考え、判断し、行動する子の育成

～10年後の子どもたちの成長を見据えた桂川教育を目指して～

# 軸となる取組・活動

## 義務教育卒業時につけたい力①：自ら学ぶ力

- ・基礎学力の定着をめざして粘り強く学ぼうとする力
- ・学習規律の定着を基盤として深い学びに対して積極的に向かう力

### 学年又は学年区分ごとにめざす姿

- ・興味関心をもって学習に取り組む
- ・学習におけるルールを守ろうとする姿勢が身につく

- ・グループ内で意見交流しながら学習をすすめていける
- ・学習規律を守ろうとする態度が定着している

- ・協働的な活動を通してコミュニケーション力を発揮しながら学習を深めていける
- ・学習規律の定着を元に積極的な姿勢で学習できる

・自己の夢の実現（進路展望）に向かって粘り強く学んでいく

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
----	----	----	----	----	----	----	----	----

### 取組・活動

#### 学習課題の実施と定着（平日及び週末の家庭学習課題）

##### <桂小学校の取組>

- ・「授業」伝え合う力を育成させるために「相手にわかるように話す力」「大事なことを落とさないで聞く力」の育成を図る。
- ・「課外学習」読み聞かせや学校図書館の利用で読書習慣を作る。
- ・「家庭学習」反復練習で基礎基本の徹底。

- ・相手意識をもち、「話し合いたい」「伝えたい」「意見を聞きたい」と児童が思う場面を意図的に作り出す。
- ・「課外学習、授業」読書活動の充実。
- ・「家庭学習」家庭での学習習慣と学習内容の定着・家庭学習の計画と振り返り。自主学習の取組。

- ・相手意識をもち、「ひろげる話し合い」「まとめる話し合い」等話し合いの目的や場面を意識した活動の設定を行う。
- ・「課外学習、授業」学習・情報センターとしての図書館の活用
- ・「家庭学習」自ら課題を設定し、学習を進め、自己評価する自学自習の習慣化へ

##### <桂中学校の取組>

- ・学習規律の徹底を図り、学習に対する積極的な態度の育成（1年）
- ・英語数学における少人数分割・TT授業（2年）
- ・言語活動の充実を図り、アクティブラーニングを意識したコミュニケーション活動を取り入れた授業の展開（全学年）
- ・図書館を活用した授業（全教科）
- ・朝読書の取り組み（全学年）
- ・テスト前学習会の実施
- ・長期休業における補充学習会、自主学習会の実施（全学年）
- ・未来スタディーを活用（全学年）

##### <桂徳小学校の取組>

- ・簡単な話型を使って発表させる。
- ・ある程度の枠組みを決め振り返りやすいノート作りを目指す。
- ・具体的な活動を取り入れ、興味関心をもたせた学習をすすめている
- ・「家庭学習」反復練習で基礎基本の徹底

- ・目的やねらいに応じた場づくりや相手意識を持った話し合いの設定。
- ・「話す・聞く」姿勢などの指導を継続しながら、相手意識をもたせた話し合いを行っていく
- ・「家庭学習」家庭での学習習慣と学習内容の定着・家庭学習の計画と振り返り

- ・単元内容や学年の実態により学習形態をかえ、課題に迫る活動を通してグループや少人数で話し合いながら学習を進められるようにする
- ・「家庭学習」自ら課題を選び計画して、自己評価する自学自習の習慣化へ

##### <桂川小学校の取組>

- ・学習活動の中でプログラミング的思考を展開し、論理的な思考力を身に付ける基礎となる活動に取り組む。
- ・話型や「話す・聞く」力の定着
- ・進んで問題に取り組み、筋道立てて考えようとする子を育てる。
- ・全ての児童の学力を保障し、誰一人取り残さない。
- ・「家庭学習」反復練習で基礎基本の徹底

- ・学習活動の中にプログラミング的思考を育てる活動を位置づけて活用し、試行錯誤しながら課題を達成する。
- ・プログラミング的な思考を育てる単元や授業づくりを進め、論理的な思考力を身に付ける活動に取り組む。
- ・「話す・聞く」力の定着
- ・見通しをもち、さまざまな手立てで問題に取り組み、筋道立てて考え、伝える子を育てる。
- ・全ての児童の学力を保障し、誰一人取り残さない。
- ・「家庭学習」家庭での学習習慣と学習内容の定着・家庭学習の計画と振り返り

- ・プログラミング的思考を活用し、試行錯誤しながら課題を達成する。
- ・コンピュータやロボット等を活用してプログラミング的な思考を育てる学習に取り組み、論理的な思考力を身に付ける。
- ・「話す・聞く・書く」力の定着
- ・見通しをもって進んで問題に取り組み、筋道立てて考え、伝え合う子を育てる。
- ・全ての児童の学力を保障し、誰一人取り残さない。
- ・「家庭学習」自ら課題を選び計画して、自己評価する自学自習の習慣化へ

##### <中学校ブロックとしての取組>

- ・家庭学習課題の適切かつ着実な実施

## 義務教育卒業時につけたい力②：規範意識・思いやりの心

- ・互いを認め合い、やさしい気持ちで接することができる力
- ・正しい判断のもとに自主的に行動できる力

### 学年又は学年区分ごとに目指す姿

- ・友だちと仲よくし、助け合える
- ・ルールやマナーを知り、正しい判断が必要なことを理解できる

- ・思いやりの気持ちで仲間と接し、相手のことを理解できる
- ・集団や社会のルールが守れる

- ・集団の一員としての自覚を高め、自己の役割や責任が果たせる

・社会の一員としての自覚を高め、自己の夢の実現に向けた態度と実践力が身についている

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
----	----	----	----	----	----	----	----	----

### 取組・活動

#### 道徳授業の積極的な実践と交流・研究

##### <桂小学校の取組>

- ・生活や学習の中できまりや学習規律の理解を図る。
- ・道徳教育、「友だちの日」など人権学習の充実により、命を大切に

- ・学級活動や部活動等でルールを守り仲間と協力する態度を養う。
- ・道徳教育、「友だちの日」など人権学習の充実により、自己肯定

- ・自分を大切にし、主体的に学びの機会に参加し、意欲的に交流する。
- ・道徳教育、「友だちの日」など人

##### <桂中学校の取組>

- ・「考える道徳・話し合う道徳」を積極的に活用した道徳授業の実践
- ・育成学級生徒について正しい知識と認識が持てることを目指した学習の実践

する心や他人を思いやる心の育成を図る。 ・縦割り活動を通して異学年の関わり方を学ぶ。	感、自己有用感等の育成を図る。(生徒指導の三機能) ・縦割り活動で互いのよさやがんばりを認め合う	権学習の充実を図り、自他ともに大切にし、仲間とともに協力する。(生徒指導の三機能) ・児童会活動において自己の役割を自覚し、互いを認め合い、励まし合う集団作りを行う。	・個々の社会性を高め、社会の一員であることの自覚を高めていくためのキャリア教育活動の実践 ・小中一貫を意識した交流活動の継続的な実践 ・総合的な学習の時間をSDGs軸に取り組みを進める。
<桂徳小学校の取組> ・学習や遊びを通して、ルールやマナーを知り、友だちと仲良く活動できる場を設定する。	・学級活動・児童会活動やクラブ活動等の活動を通して、集団生活の約束を理解し、思いやりをもって友だちと活動ができるよう働きかける。 ・体験学習の振り返りを行う。	・児童会活動やクラブ活動等、学校のリーダーとして自覚が持てるよう働きかけると共に、自己の力にあった役割や責任をもたせる。 ・体験学習の振り返りを行う。	
<桂川小学校の取組> ・学校生活のあらゆる場面や機会を通して、生徒指導の三機能を意識した「自己指導能力」の基礎を養う。 ・あいさつ日本一の学校を目指し、あいさつの大切さに気付く。 ・50のルールとマナーについて考え、その大切さに気付く。 ・誰とでも仲良くする心情を育てる。 ・係活動や当番活動を通して、助け合いの心、感謝の心を育てる。	・学校生活のあらゆる場面や機会を通して、生徒指導の三機能を意識した「自己指導能力」の育成を目指す。 ・あいさつ日本一の学校を目指し、あいさつの大切さを理解する。 ・50のルールとマナーについて考え、その大切さを理解する。 ・相手のことを思いやる心情を育てる。 ・体験活動を通してお年寄りや障がいのある人々への理解を深める	・学校生活のあらゆる場面や機会を通して、生徒指導の三機能を意識した「自己指導能力」の育成を目指し、行動につなげる。 ・あいさつ日本一の学校を目指し、あいさつの大切さを理解して行動する。 ・50のルールとマナーについて考え、その大切さを理解して行動する。 ・自分も人も大切にする心情を育てる。 ・リーダーとしての自覚や責任感を育てる ・体験活動を通して、自己の役割を自覚し、望ましい人間関係を築く。	

#### <中学校ブロックとしての取組>

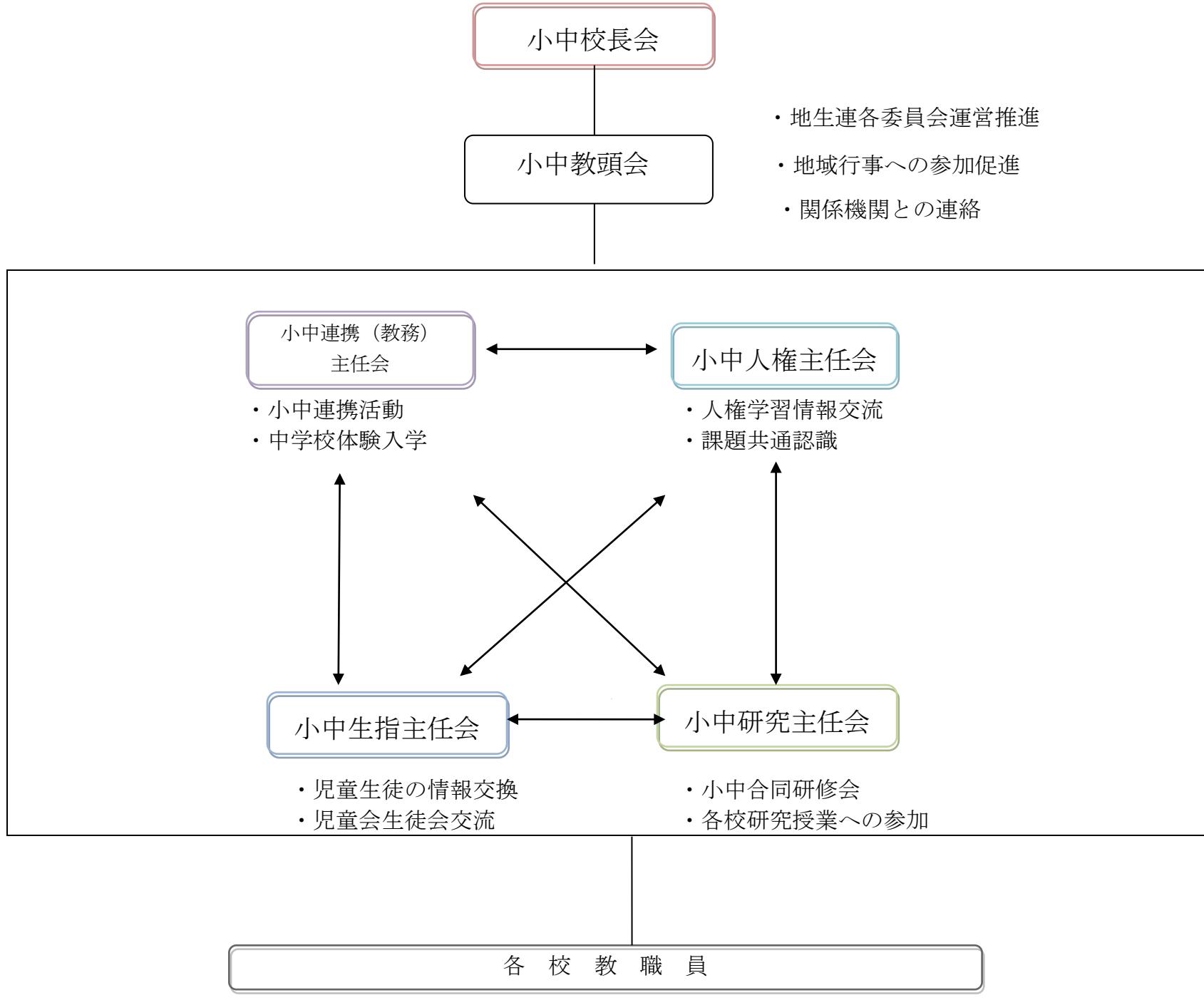
- ・道徳授業の積極的な実践…相互の授業参観、資料の活用方法の協議、道徳授業の評価活動の研究
- ・小中学校合同活動…オープンスクール（授業及び部活動体験）
- ・自学自習の習慣化への指導・支援【学習内容時間の計画と自己評価】：各小3年生以上～中学校の定期テスト準備→高校入試→生涯学習

#### 学びの約束・ルール

項目	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
あいさつ	・元気よくあいさつができる子	・自らあいさつができる子	・相手を尊重し、場に応じたあいさつができる子						
言葉づかい	・しっかり大きな声で、ていねいに話す	・きつい、きたない言葉を使わない	・時や場所に応じた言葉を使い分ける	・相手の状況や気持ちを感じながら適切な言葉づかいができる					
コミュニケーション	・楽しく表現することを通して「話す」力を育てる	・豊かな話し合い活動を通して「聞く」力を育てる	・表現を学びや思考につなげ深めるため「書く」活動の充実	・話し合いの目的や方向性を理解しながら、理由付けも含め、自らの意見が言える					

## 小中一貫教育推進体制

桂中ブロック 4 校：桂中、桂小、桂徳小、桂川小



## 家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や、学校評価アンケート項目の統一など、家庭・地域との連携・協力に向けた取組について、記載してください。

- ・地生連および少年補導行事への参加の促進…桂ふれあいプラザ（地生連）など
- ・小学校だより、学年通信、地生連だよりの発行を通した情報発信及び学校HPへの掲載。